

2020年度 第6回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2020年9月24日（木）

場 所 豊岡稽古堂3階 交流室3-1

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前9時30分

閉会時間 午前10時20分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	堂垣 真弓
	教育総務課長	永井 義久
	こども教育課長	飯塚 智士
	こども教育課参事（こども支援センター所長）	惠後原 博美
	こども育成課長	木下 直樹
	教育総務課参事兼課長補佐	木之瀬 晋弥
	教育総務課教育総務係長	竹内 有子

事務局以外

文化振興課主幹兼文化振興係長 若森 和歌子

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

成田 壽郎 委員

第2 前回の会議録の承認

2020年8月18日（火）開催 第5回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 文化振興課

- (1) 第71回豊岡市美術展について

第5 議事

- 議案第26号 豊岡市立中竹野小学校の統合に関する要望書に対する教育委員会の方針について
- 報告第20号 寄附物件の受納について
- 報告第21号 令和2年9月市議会答弁概要について

第6 教育委員会事務局の報告

1 こども教育課

- (1) 問題行動等の状況について
- (2) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

2 こども育成課

- (1) 小規模保育事業に係る事業者の決定について
- (2) 「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画（案）」市民説明会の実施結果及び主な意見について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午前9時30分

(教育長)

ただ今から、2020年度第6回教育委員会会議を開会いたします。本日は、すべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、成田委員にお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。8月18日に開催しました第5回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回8月18日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

8月31日から9月11日までの約2週間で、すべての小中学校で新型コロナウイルス感染症に係る授業を行った。感染防止については、それぞれの学校でこれまでから何度もやっているが、今回のコロナに係る授業は、偏見・差別に視点を当てて授業を構成した。日本赤十字社が「ウイルスの次にやってくるもの」というアニメーションを作っていて、人が人を傷つけ合うことで感染症を隠すようになる、ウイルスの次にやってくるものがもっと怖い、不確かな情報を鵜呑みにしないというようなメッセージを送っている。この授業は、ウイルスの怖さは3つの顔を持っているという授業を行った。1つ目は病気そのもの、2つ目は病気にかかるのではないかと不安に思う気持ち、3つ目はそのことによる偏見や差別である。今回は、3つ目のことを重点的に授業を行った。

豊岡小学校の授業を見に行ったが、思ったより子どもたちはコロナに対して不安を感じているということがはっきり分かったような気がする。今後も引き続いて、この差別・偏見については、学校で取り組んでいただきたいと思う。出石中学校に学校訪問に行くと、学年だよりにそのメッセージが書いてあり、校長が全校朝会でそのことを紹介したというような話も書いてあった。今回、授業の最後に市長・教育長メッセージを付けているが、必ず今日学習したことをお家の人と話しましょうと宿題にしている。つまり、保護者や家庭への啓発も兼ねての授業という狙いでやっているのだから、皆さんもご承知いただきたい。

2つ目は、修学旅行の関係である。豊岡市は、すべての小中学校で修学旅行を計画している。小学校は2校を除いて1泊2日で広島方面、中学校は各学校バラバラで、どういう修学旅行にしたいのかということそれぞれの学校が知恵を絞って、そして、子どもや保護者の意見を聞きながらやっている。例年のように東京には行けないが、2泊3日で奈良方面、和歌山方面、1泊で岐阜方面、岡山方面、それから、3校は市内で修学旅行を実施する。市内で1泊のところ、2泊のところ、日帰りを2回するところと、それぞれ千差万別であるが、それぞれが保護者と子どもとの合意形成を図ってやってくれたところに意義があるのかなと思っている。通常の修学旅行では得られない何かがあるのではないかと思います、またその結果を楽しみにしているところである。

【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

それでは、日程第4 地域コミュニティ振興部の報告に移ります。

文化振興課 (1) 第71回豊岡市美術展について、文化振興課主幹兼文化振興係長の説明をお願いします。

1 文化振興課

(1) 第71回豊岡市美術展について

《文化振興課主幹兼文化振興係長の説明概要》

第71回豊岡市美術展について、資料に基づき説明する。

展覧会期は、2020年11月3日（火・祝日）から8日（日）までの6日間である。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、開場時間の延長を行い、表彰式を簡略化する。例年、児童・生徒の部は、教育委員に出席いただいていたが、今年度は規模を縮小し、教育長のみ出席いただく。例年、個人ごとに表彰伝達を行っていたが、代表者1名とする。なお、壇上での学年ごとの記念撮影は例年通り行う。保護者の同席は1名のみとする。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。議案第26号 豊岡市立中竹野小学校の統合に関する要望書に対する教育委員会の方針について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第26号 豊岡市立中竹野小学校の統合に関する要望書に対する教育委員会の方針について

《教育総務課長の説明概要》

9月18日、中竹野地区区長協議会長、中竹野小学校PTA会長及び竹野認定こども園中竹野地区保護者代表から中竹野小学校と竹野小学校を統合することについての要望書が市長及び教育長に提出された。その要望書に対する教育委員会の方針について協議いただきたい。

要望書の内容は、①2022年4月を目標に統合を推進してほしい、②統合を進めるにあたっては、早急に統合準備委員会を設置し、統合に関わる諸問題を検討してほしい、③通学の安全確保のため、スクールバス等の導入を検討してほしい、④統合後の中竹野小学校の跡地活用については、地域住民のふれあいの場と地域振興の場として活用させてほしい、この4点であった。

この要望に対する教育委員会の考え方は、統合先を竹野小学校としていることについては、最も近隣の学校であり、主に竹野認定こども園に通う未就学児は、竹野小学校区、中竹野小学校区の子どもであり、幼児期からのつながりが強いことから、統合先として適切であると考えます。

教育的観点からは、統合により複式学級が解消されるほか、学習・生活両面にわたり、多様な考えに触れ、認め合い、協力しあい切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力をさらに

伸ばすことができる、学校行事や体育・音楽活動の幅が広がるとともに、グループ学習など効果的な教育活動が行えるなどの効果が考えられる。

統合の時期は、要望のとおり2022年4月を目標とし、豊岡市立竹野小学校・中竹野小学校統合準備委員会（仮称）を設置し、両地区の関係者とともに協議・調整を行うこととする。また、通学の安全確保については、統合準備委員会でその方法等について協議する。

また、学校の跡地利用については、他の公共施設等と合わせて、今後の検討課題とする。

その他として、同じ竹野地域内にある竹野南小学校について、竹野小学校・中竹野小学校と小小連携教育を行ってきたことから、両校が統合することにより疎外感が生じないように、適切に情報提供等を行う。

（教育長）

教育委員会の方針について、説明がありましたが、ご質問やご意見はありませんでしょうか。

（向井委員）

竹野南小学校区では、まだ統廃合の声は出ていませんが、2022年の竹野小学校と中竹野小学校統合のときに、竹野南小学校も一緒に統合となればいいのですが、もしできなかった場合は、2回統合するののかという懸念の声が、昨日の小中学校のあり方意見交換会で保護者から上がっていました。そういうことも踏まえて、教育委員会から何らかの働きかけをされるのか、それとも、地域の方の意見を待たれるのかをお聞かせください。

（教育総務課長）

竹野地区以外にも統合を急ぐところと、5年から10年以内というところがありますので、意見交換会では、課題があるということもあわせて説明をしながら、審議会の考え方として案を示しています。今後、ご意見をいただく中で修正も行い、調整させていただきたいと思います。

（教育次長）

竹野南地区については、小学校PTAや森本へき地保育園の保護者会から動きがあることをお聞きしています。やはり中竹野地区の動きが竹野南地区にも大きく影響しているところもあります。PTAで話し合いが行われたり、アンケートを実施しておられます。統合したいというお気持ちは持たれていますが、その時期がまだ決まっていないという状況でのようです。

教育委員会としては、今、審議회를立ち上げていますので、適切に情報提供を行いながら、できれば一緒の時期のほうが子どもたちにとっても、地域にとってもいいのではないかと考えていますので、いい流れになるようにしていきたいと考えています。

（教育長）

昨日の小中学校のあり方意見交換会で、6年間の間に2回も統合するようなことがないようにという意見がありましたが、中竹野地区はそのことも想定しながら、でも早急に統合をという、そちらを優先されたので、私たちもその考えを尊重しました。今、説明があったように、審議会としてはそのようなことがないように計画しますが、個別での対応が出てきますので、気をつけていきたいと思っています。

(教育長)

それでは、豊岡市立中竹野小学校の統合に関する要望書に対する教育委員会の方針について、異議はありませんか。

(委員)

異議なし

(教育長)

では、異議がないようですので、この方針で進めていきます。

続きまして、議事（報告）に移ります。報告第20号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第20号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体4件、個人3件、合計7件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第21号 令和2年9月市議会答弁概要について、教育次長の説明を求めます。

○ 報告第21号 令和2年9月市議会答弁概要について

《教育次長の説明概要》

令和2年9月市議会の答弁概要について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、令和2年9月市議会の答弁概要について、ご承知おきください。

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。こども教育課(1)問題行動等の状況について、こども教育課長の説明をお願いします。

1 こども教育課

(1) 問題行動等の状況について

《こども教育課長の説明概要》

問題行動等の状況について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

家出が2件挙がっていますが、両方ともその日のうちに保護できたのでしょうか。

(こども教育課長)

すぐに保護できました。母親と生徒は携帯電話で連絡を取っていましたが、警察に家出として連絡をしておられましたので、家出事案として挙がっています。

(教育長)

その他、ご質問等ありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2)豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

(2) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

こども支援センターの活動状況について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、ふれあいルームの通級児童生徒数は実数6人、延べ27回となっている。1名の生徒は毎日、他の2名は約半分の日数、もう1人は週1回定期的に来所できている。また、火・水・土曜日に行っている不登校相談のカウンセリングは、8枠中4人が利用された。

特別支援の取組状況は、センターへの来所や学校園訪問による教育相談は40件、視機能・知能などの各種検査は18件実施した。

家庭児童相談の取組状況は、児童虐待相談の実件数は34件、虐待通告が2世帯5人あった。1

件目は、発達障害がある2人きょうだいの養育について、母から虐待をしてしまうかもしれないという訴えがあり、ショートステイ等を利用するよう支援を進めている。2件目は、母の連れ子2人が継父から暴力を受け、こども支援センターが介入し、現在、学校園で見守りをいただいている。児らの妹が同世帯であり、虐待を目撃しているため、心理的虐待で計上している。

7月に身体的虐待で一時保護されていた中1女兒は、8月13日に家庭復帰した。こども家庭センターでは保護者に指導、女兒には心理士面談を継続している。学校では、児童や周りの生徒への対応など、多くの配慮をいただいている。今後も引き続き学校に見守りをお願いしていきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

質問ではありませんが、先日、2歳の男児を抱えているひとり親の女性が、私のところに相談に来られました。男児について、こども支援センターに何度か相談を持ちかけたが、思ったような対応をしてもらえなかったということでした。2歳の子どもがこんな行動をする、こんな考え方をする、こんなやんちゃをするなど、育児に悩んで相談に行ったのに、「それは保育園に言ってください」「保育士に言ってください」「〇〇に行ってください」と言われてしまい、満足のいく答えが得られなかったとおっしゃっていました。豊岡市では「就学前の教育・保育計画 スタンドアード・カリキュラム」というものがあり、0歳児はこんなことを、1歳児はこんなことをとというような、めざす子ども像というものがあるので、参考にしてくださいと伝えました。育児相談については、もっと親身になって聞いてあげてほしいと思います。

(こども支援センター所長)

こども支援センター職員の中で共有したいと思います。

(教育長)

続きまして、こども育成課からの報告に移ります。(1) 小規模保育事業に係る事業者の決定について、こども育成課長の説明をお願いします。

(1) 小規模保育事業に係る事業者の決定について

《こども育成課長の説明概要》

小規模保育事業に係る事業者の決定について、資料に基づき説明する。

8月14日を締切として、小規模保育事業A型1施設を整備して運営する事業者を公募した結果、1者から応募があった。選考の必要がないことから、事務局において審査を行い、その者に決定した。

事業者は、社会福祉法人豊友会で、現在、認可保育所2施設、小規模保育事業所2施設を運営されている。実施場所は下陰で、同法人運営施設であるチャイルドハウス保育園の隣接地となり、定員は15人、0歳児5人、1歳児10人である。連携施設は、同法人が運営されているチャイルドハウスこども園で、2021年4月に保育園からこども園に移行予定である。開設日は、2021年4月1日である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2)「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画(案)」市民説明会の実施結果及び主な意見について、こども育成課長の説明をお願いします。

(2)「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画(案)」市民説明会の実施結果及び主な意見について

《こども育成課長の説明概要》

「豊岡市における幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画(案)」市民説明会の実施結果及び主な意見について、当日配付資料に基づき説明する。

8月24日から9月11日まで、市内7会場で9回開催した結果、参加者は306人であった。

主な意見は、「コロナ禍で密になる統廃合は見直すべきである」、「財政面または効率化のためだけに民営化すべきでない」などの意見があった。

具体的には、豊岡・八条地域では「めぐみ幼稚園とひかり幼稚園が統合することは良いが、公募により知らない民間園になることは疑問、また、不安を感じる」、五荘・奈佐地域では「幼稚園が良いと思って通わせているので、幼稚園を残してほしい」、「通学のあり方、安全対策を検討してほしい」、出石地域では「幼稚園児の放課後児童クラブの預かり時間を午後4時までから6時までに延長すれば、幼稚園の入園が増えるのではないか」、「小学校の話も一緒に考える必要がある」、日高地域では「日高幼稚園の現状から、再編期間の10年間は長すぎるのではないか」、「適正規模確保は子どもにとっては大切なことで、こども園への再編は不可欠である」、但東地域では「早期統合を実現させてほしい」、「資母地域の保護者としては、認定こども園を残してほしい」、「3園の統合の早期実現を望むが、まず、高橋と合橋の統合を先行して進められないか」というような意見をいただいた。

いただいた意見や今後実施するパブリックコメントの意見を参考にし、また、来年度の入所の申込状況などを踏まえ、必要に応じて計画を修正し、2021年2月に計画を策定したいと考えている。計画策定後は、できるだけ速やかに事業を推進する対象地域に、説明・協議に入らせていただきたいと考えている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

資料を当日配付していますので、ゆっくり読んでいただく時間はないと思いますが、教育委員の皆さんも市民説明会に参加していただきましたので、感想や意見がありましたらお願いしたいと思います。

(成田委員)

私の印象に残っているのは、私立園がこれからたくさんできていくことについて、参加された方は強いインパクトを受けておられたように思います。その中で、他市から豊岡市に移り住んだという若い方が、豊岡市の小学校の芝生化を取り上げて、豊岡の教育は本当に素晴らしいということを言われました。しかし、幼保教育について、私立園が増えていくということは、自治体・教育委員会が幼保教育に対してリーダーシップを放棄しているような印象があるというようなことも言われました。幼保教育も教育委員会・豊岡市に任せておけというような意気込みが感じられない、あるいは、感じたいというような思いがあったのかもしれませんが。決してリーダーシップがないわけではないと思いますが、市民に与える印象としては、そういうことがあるのかなと思いましたので、気をつけて見ていかなければならないと感じました。

(こども育成課長)

確かに計画では、公立園が少なくなり、私立園が増えることとなります。私立園への指導は強化していく必要があると思います。例えば、特別な支援を必要とする子どもについては、私立園ではなかなか対処できない状況が増えてきていると思いますので、そういった子どもたちの受け皿になることも、残された公立園の1つの役割ではないかということも感じています。そういったことも含めて、公立園・私立園のあり方を検討していきたいと考えています。

(飯田委員)

保育士さんの確保が厳しい中で、各園によって保育士の待遇が違う、まして、公立と私立とではなおさら差があります。私立になると保育士が確保しにくいという意見がありました。市が募集すれば募集人数以上の応募がありますが、私立は全く応募がないという意見もありました。この課題をどのように考えるのか、市は私立の認定こども園へと進めています、そういうことも踏まえてしっかりと説明していく必要があると思いました。

(こども育成課長)

民間の保育士の処遇、待遇は悪いという印象を持たれているということはあると思います。国も処遇改善、待遇改善ということで、民間の保育士に対しての補助があり、改善もなされていますので、決して待遇が悪いということはないと思います。

今、保育士が足りないのは民間だけではなく、公立の正職員についても応募人数が減ってきている状態だと思います。会計年度任用職員については、募集をかけていますがなかなか応募がない状態です。確かに保育士確保は民間園だけではなく、公立園でも難しい状況です。そういった状況もあり、施設を統廃合させて、全体の人数は変わらなくても、ある程度、保育士を集約して、待機児童を解消していくことも今回のあり方計画の目標の1つです。また、保育士確保のため、民間園と一緒に大学を訪問したりもしています。各施設の待遇改善やもっと働きやすい職場にするための取組みを行っていますが、保育士確保については、民間園と一緒にいろいろな対策に取り組んでいきたいと考えています。

(飯田委員)

今の説明の内容を各施設の施設長がよく理解できていないのではないかと感じました。施設が

大きくなれば、それだけ保育士さんの数も充実してくるし、また、保育の内容も充実してくると
いうことの説明をもう少しされたほうがいいと思いました。

(教育長)

民間園が増えて、市がリーダーシップを取れるのかどうかという点と、保育士が不足している
という点、これについて教育次長から何か補足はありますか。

(教育次長)

確かに、今回のあり方計画(案)では、民間園が増えて、公立園が最終的には5園になる予定
になっています。市議会定例会でも議員からそのような質問、意見がありましたが、豊岡市の行
財政改革も含めた方針がありますので、それに基づいて進めています。基本としては、「子ども
たちの育ち」ということを第一に考えて、今回の計画は考えています。

豊岡市がめざす教育・保育というものがあります。幼稚園については、入園する子どもが減っ
てきていて、維持することが厳しい状況があり、公立園で整備すると民間園の経営を圧迫する
という心配があります。そのようなことがないように、特に、近隣にある民間にお願いするという
スタンスで進めています。ただ、今後、計画を少し見直すことも検討しています。豊岡市がめざ
す教育・保育については、公立園で先行的に行い、それを民間に広げていくように、リーダ
ーシップを取って進めていきたいと思っています。

保育士待遇については、国も力を入れて待遇改善をしていますので、民間園も給料はよくなっ
ています。ただ、公立園の正規職員の給料は少し高いですが、公立園の会計年度任用職員につ
いては、民間園の職員よりも少し低いところもあります。なかなか保育士を募集しても応募がない
状況がありますので、豊岡市全体で採用できるような取組みをしていきたいと思っています。

(飯田委員)

私は、教育委員会の方向性についてはよく理解しています。ただ、各法人等の理事長の中には
理解されていない方もいて、子どものためを思ってやっているのに市はどうなんだということ
を言われる方もいます。施設長会議のようなものがあれば、今のような考えをしっかりと伝えら
れるのですが、受け取る側にも温度差がありますので、今後、何かの機会があるごとにうまく説明
してもらえれば、もっと理解が進むのではないかと思います。

(佐伯委員)

市民説明会での意見で「公立と私立で保育の質や内容は変わらないと言われていますが、どう
なんですか」という声を聞きました。市は、民間園に対して「園でこのような内容の教育を
してください」という最低限の指針を示し、基本的なことは必ず実行してもらおうという約束事
を決めてから移行していただくようお願いします。

(教育次長)

新しいスタンダード・カリキュラムは、民間園の方々にも協力をいただいて、たくさんのエピ
ソードが公立からも私立からも集まってできています。今、公立、私立一緒になって研修を行っ
ていますので、しっかりここまでのレベルは保つということを研修のなかで根付かせるようにし

て、それで移行させていく。また、移行しない園もありますが、どこの園でもしっかりとやっていきたいと思います。

(向井委員)

今、指導主事の先生方が一生懸命、各学校園を回って指導してくださり、小学校への引継ぎも丁寧にしていただいています。そういう引継ぎが私立園になれば、どこまでしていただけるのでしょうか。

(教育次長)

小学校への引継ぎについては、民間園も心配しておられます。本来、今年4月の校園長会の際に、民間園の方も一緒に教育長の話や講義を聞いてもらい、その後、連携の話をしてもらおうと思っておりましたが、新型コロナの関係で実施できませんでした。来年4月の引継ぎについては、窓口となる職員を明確にし、小学校に上がってくる子どもたちについては、小学校からも見ていただくというような連携は大切だと思っていますので、連携を取りながら引継ぎを行いたいと思います。

(こども育成課長)

保幼小の引継ぎについては、今、窓口となる園の担当者と小学校の担当者のリストを作成しています。そのリストを各園と小学校に配布する予定にしています。

(教育長)

先日の民間園の要望会では、民間園のほうから引継ぎがしっかりできるようにしてほしいという要望がありました。それは小学校側の問題でもありますけれども、連携できるようにやっていきたいと思います。

その他、ご意見等はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、これで各課からの報告を終了します。

【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

日程第7 委員活動報告に移ります。

(向井委員)

出石中学校と竹野南小学校を訪問させていただきました。予想以上に、コロナが子どもたちに目に見えないところで影響していると感じました。それぞれ部活のことで悩んだり、目標を失ったりしていますが、先生方は一生懸命子どもたちに寄り添ってくださっています。なんとか穏や

かに、目標を持って自主的に過ごせるようにと願っています。

(飯田委員)

今までは幼稚園があり、各地域で集団登校を通じて異年齢のお兄さん・お姉さんとのつながりがありましたが、幼稚園・保育園の通園区域が自由区域になるとバラバラになってしまいますので、保幼小連携について各保育園に心掛けていただくような取り組みが必要ではないかと思いました。

(佐伯委員)

幼保のあり方計画市民説明会では、いろいろな意見が出ていましたが、大人の都合を言っておられる意見が多いと感じました。もう少し「子どもたちが」という子どもメインの視点で、保護者、おじいちゃん・おばあちゃん、地域の方々に考えていただきたいという感想を持ちました。

(成田委員)

9月4日に進学対策協議会で県に陳情に行きました。コロナ禍ということで、人数を絞って、事務局と私と出石中PTA会長の3人で行かせていただきました。ここでも少子化が課題になっていまして、「ひょうご未来の高校教育のあり方検討委員会」が県で動いています。豊岡の子どもの夢の延長と言いますか、直接関係するようなことでもありますので、そういう観点からも高校問題を考えさせていただきたいと思っています。

それから、以前にもお話しましたが、朝の登校ボランティアに毎日行かせてもらっています。ただ集まって並んで行くということだけでも私は感動を覚えるのですが、先日こんなことがありました。13～14人の大きな登校班に1年生が4人ほどいて、ある日、1年生の1人がマスクを忘れて家に取りに帰りました。かなり距離があるのですが、1人の上級生と一緒に家までついて行ってあげたのです。それが当たり前なのでしょうが、自然にそういうことができている、そして、全体のリーダーはそこに残って、サブリーダーと一緒にいったのです。誰に指示されるでもなく自分たちで考えて、自然発生的にそういう行動をとっている、それはたぶん、1年生の心にも、リーダーの心にも何か勉強では得られない力をそこで培っているなということが伝わってきて、とても嬉しい気持ちになりました。これからもできる限り、この活動を続けていきたいと思いました。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第7回教育委員会会議は、10月26日（月）午後1時30分から、本庁舎3階 庁議室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

10月26日（月）午前10時より「文化と教育の先端自治体連合「第2回オンライン大会」が開催される。「コミュニケーション教育をどう学校教育とつなげていくのか～子ども達の非認知スキル向上のために（仮）」と題して、青山学院大学 荻宿教授の基調講演が行われる。お時間があればご参加いただきたい。

（教育長）

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

（委員）

なし

（教育長）

それでは、次回の教育委員会会議は、10月26日（月）午後1時30分から、本庁舎3階 庁議室で開催します。

これをもちまして、第6回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午前10時20分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2020年9月24日

教育長

委員